

2013年サンクスギビング特別集会

標 語

今日、召会を建造するための中心的な必要は、命の繕う務めです。

この務めを通して、破損していた霊的な網は
挽回され、成就され、さらに堅固にされました。

またこの務めの中で、わたしたちはキリストを
わたしたちの命として経験し、神の住まいとなります

キリストは良い牧者であり、羊のためにご自身の命を捨てました。
それは神聖な命において、一つの群れ、ひとりの牧者となるためです。
今や彼は、御父の家のために命の中でわたしたちを牧養しています。
御父の家は、手順を経て究極的に完成された三一の神と、彼の贖われ、
再生され、造り変えられた選民からなる神性と人性との合併です。

人の子としてのキリストは大祭司であり、
足まで垂れた衣を着て、胸に金の帯を締めておられ、
彼の人性において諸召会をはぐくみ、
彼の神性において諸召会を養います。

主イエスが世界情勢を案配し、それによって神の民が前進している間に、
彼はまた天の務めを執行し、天の豊富、神聖な要素をもって、
神を愛し追い求める者たちに特に供給します。
それは彼らが勝利を得る水準に保たれ、宝石へと造り変えられて、
神の住まいを建造するためです。

2013年11月28—12月1日
サンクスギビング特別集会のメッセージアウトライン
主題：ヨハネの繕う務め

メッセージ 1
命の繕う務め

聖書：マタイ 4:21. ヨハネ 21:11. 12:24. I ヨハネ 1:1-2. 5:11-13, 16

- I. 使徒ヨハネの務めは繕う務め、すなわち、パウロの完成する務めの時の後、破壊されていたものを繕う務め、あるいは回復する務めでした。ヨハネは破損していた霊的な網を繕い、それを成就してさらに堅固にしました——ヨハネ 21:11. I ヨハネ 1:1-2. 2:7-8 :
- A. ヨハネの務めは、パウロの完成する務めに対してなされていた破壊を繕うことでした——II テモテ 1:15。
- B. パウロの死後、サタンはこうかつにもキリストのパーソンに関する異端と、召会を破壊する虚偽の教えを持ち込みました——I ヨハネ 2:18-19。
- C. なされてきた破壊のゆえに、繕う務めの必要がありました。ヨハネは破壊されたものを繕っており、彼の文書は召会の破れた穴を修復しました——1:1-2. 2:20-25。
- II. 主がヤコブとヨハネに現れて彼らを召したとき、彼らは「網を繕って」いました——マタイ 4:21 :
- A. この節の「繕う」というギリシャ語の言葉は、I コリント第1章10節（「調和される」）、ガラテヤ第6章1節（「挽回する」）、エペソ第4章12節（「成就する」）、I テサロニケ第3章10節（「完成する」）でも使われています。
- B. 繕う務めは、挽回する、修理する、装備する、成就する、補足する、共に組み立てることを含みます。
- C. ヤコブとヨハネが彼らの網を繕っていたのは、必ずしもそれが破れていたからではありませんでした。彼らは網を成就し、装備し、何かを加えて、網をさらに強く、さらに完全にしていました。
- D. 繕う務めは、修理し、挽回し、成就し、用意し、完成し、加え、調整し、装備し、ふさわしくし、わたしたちを調和させて、わたしたちが他の人と共に建造されるようにすることです——I コリント 1:10. II コリント 13:9. ガラテヤ 6:1. I テサロニケ 3:10。
- E. 繕うことがないなら、多くの材料が召会の中へともたらされても、建造はありません。材料を積み上げることは繕うことを必要としませんが、その材料を建造することは多く繕うこと、成就すること、装備すること、調和することを必要とします。
- III. 使徒ヨハネの務めは、命の繕う務めでした——ヨハネ 1:4. 10:10. 11:25. I ヨ

ハネ 1:1-2. 5:11-13, 16 :

- A. ヨハネによる福音書は命の書です—— 1:4. 3:15-16, 36. 5:24. 11:25. 14:6. 20:31 :
1. ヨハネが語っている命とは、永遠の、非受造の命です。この命は、実は三一の神ご自身です—— 5:26. 11:25. 6:63。
 2. 主イエスが来たのは、わたしたちが命を豊かに得るためです。彼の死と復活を通して、彼はこの命を解き放ち、わたしたちの中へと分け与えました—— 10:10. 12:24. 19:34. 20:17, 31。
- B. この命はすばらしいパーソンであり、人の言語では言い表せません。ヨハネは I ヨハネ第 1 章 1 節でこの方に言及したとき、「初めから存在したもの」と言い、永遠から御父と共におられ、使徒たちに現された方について語ることができただけでした。使徒たちは彼を命として宣言しました—— 2-3 節。
- C. 信者たちの間と諸召会における今日の破れた状態は、命を与える繕う務めによってのみ繕われることができます。命だけが繕うことができるのです—— 5:16 :
1. わたしたちの中には「穴」があり、繕われる必要がある多くの破損したものがああります。
 2. 穴と破損は、愛の中で命によって繕われなければなりません。わたしたちは命の務めによってのみ、繕われることができます—— 2:25. 3:16。
- D. 今日、召会を建造するための中心的な必要は、命の繕う務めです。この務めの中で、わたしたちはキリストをわたしたちの命として経験し、神の住まいとなります—— ヨハネ 2:19-22. 11:25. 14:2-3。

IV. ヨハネの第一の手紙で、わたしたちはヨハネの繕う務めの基本的で実質的な要素を見ます—— I ヨハネ 1:1-3, 7. 5:11-13 :

- A. ヨハネの第一の手紙における啓示の中心は、神聖な命の神聖な交わりです—— 1:3, 7 :
1. わたしたちは神聖な命を享受するために、神聖な誕生に基づき、この神聖な誕生を発展させる神聖な種により、神聖な油塗りにしたがって、神聖な命の交わりの中に住む必要があります—— 2:12 — 3:10。
 2. 終わらせる水、贖う血、生み出す霊によって、わたしたちは神から生まれて彼の子供たちとなり、彼の神聖な命を所有し、彼の神聖な性質にあずかっています—— 2:29 — 3:1. 5:1-13。
 3. キリストは今や彼の霊を通してわたしたちに内住し、わたしたちの命また命の供給となっています。それは、わたしたちが彼の神聖な要素をもって成長し、彼の現れの時に彼のようになるためです—— 3:1-2, 24. 4:4, 14-15。
- B. 神聖な命の神聖な交わりの中に住むことは、神聖な豊富を享受することです—— 2:6. 3:6 :
1. わたしたちはそのように住むことによって、神聖な光の中を歩きます—— 1:5-7。
 2. わたしたちはそのように住むことによって、真理、義、愛、神のみこころ、

彼の戒めを実行します—— 6 節. 2:5, 17, 29. 3:9-11. 4:7. 5:2。

C. 神聖な交わりの中にこのように住むことを保つため、三つの主要な消極的な事柄が対処される必要があります。それは罪、この世、偶像です—— 1:7, 9. 2:15-17. 5:21 :

1. これらの消極的な事柄に対抗する保障は、神聖な命によるわたしたちの神聖な誕生と、わたしたちの中に住む神の言葉です—— 18 節. 2:14。
2. わたしたちの神聖な誕生のゆえに、わたしたちはまた神の御子を信じることによって、サタンの邪悪な世に打ち勝ちます—— 5:4-5。
3. わたしたちの神聖な誕生と、わたしたちの内なる存在の中へとまかれた神聖な種は、わたしたちが習慣的に罪の中に生きることができないようにします—— 3:5, 9. 5:18。
4. 時にはわたしたちは罪を犯した場合、わたしたちにはなだめの供え物としてのわたしたちの弁護者があります。彼はわたしたちの父なる神の御前でわたしたちの案件を顧み、御子の永続する、有効な血はわたしたちを清めます—— 2:1-2. 1:7。

V. キリストが一粒の麦として、彼の復活において多くの麦粒を生み出すという啓示は、大多数のクリスチャンに見過ごされています——ヨハネ 12:24 :

- A. 一粒の麦としてのキリストは、神聖な種であり、多くの麦粒を生み出して、彼の有機的なからだの多くの肢体とし、それは新エルサレムにおいて究極的に完成します——ローマ 12:3-4. 啓 21:2, 10-11。
- B. 予表によれば、多くの麦粒は一つのパンを作るためです。麦粒を共にブレンディングして一つのパンにすることによって、キリストのからだとしての召会が生み出され、彼の団体の表現となりました—— I コリント 10:17. 12:12, 27。